

# 第1号議案

## 平成29年度 事業計画(案)

### I はじめに

平成29年2月に公表された内閣府の月例報告によると、景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとされている。

さて、京都和装産業振興財団は、平成4年12月24日に設立。本年25周年を迎える。この間、平成6年度から開始した「きものレンタル事業」や平成19年度から始めた「きものよろず相談事業」などは、現在も継続している。また、平成12年度には、「商取引改革宣言」を策定したほか、平成25年度には、公益財団法人への移行を完了した。

平成29年度においては、これまでの事業を見直し、さらに和装産業の振興に貢献できるよう努力していきたい。特に、平成28年度から本格的に取組を始めた「和装文化のユネスコ無形文化遺産登録」については、有識者会議を開催して、提言書をまとめている。今後は、文化庁に設置されている文化審議会の審議状況を見ながら、29年度を取組を検討したいと考えている。

以上の事業を推進するに当たっては、国、京都府、京都市及び関係団体の協力が必要である。今後とも、これらの団体との連携をさらに強化してまいりたい。

### II 事業計画

#### 1 財源の確保 (44,385千円)

\*左記の金額は収入

財団の収入源は、資産運用、事業収入、不動産収入及び補助金収入等となっている。このうち、資産運用については、「安全かつ有利」を基本にしてまいりたい。なお、現在保有している債券の中に、平成29年度中に償還を迎えるものはない。

#### ◇ 資産の内訳

(単位：千円)

区分	額面	債券の種類				定期預金
		国公債	劣後債	社債	ユーロ円債	
基本財産	22,000	20,000	—	—	—	2,000
運用財産	1,168,000	610,000	100,000	200,000	200,000	58,000
合計額	1,190,000	630,000	100,000	200,000	200,000	60,000

#### ◇ 債券の償還時期

(単位：千円)

債券の名称	額面	購入時期	償還時期	備考
第120回20年国債	30,000	2011年11月	2030年6月	
第144回20年国債	50,000	2013年5月	2033年3月	
第11回30年国債	300,000	2010年8月	2033年6月	
第152回20年国債	100,000	2015年9月	2035年3月	
第369回10年大阪府公募公債	50,000	2013年2月	2023年2月	
政府保証日本高速道路機構債	100,000	2014年5月	2024年5月	
野村ホールディングス社債(劣後債)	100,000	2010年11月	2025年11月	早期償還あり
第8回パナソニック社債	100,000	2013年1月	2019年3月	
第45回ソフトバンク無担保社債	100,000	2014年5月	2019年5月	
ロイズバンクユーロ円債	200,000	2012年2月	2024年2月	
合計額	1,130,000			

## 2 会議の開催（600千円）

- (1) 評議員会  
定時評議員会を6月に開催する。
- (2) 理事会  
決算理事会を6月、予算理事会を3月に、また、必要に応じて臨時理事会を開催する。
- (3) 正副理事長会議  
理事会の開催前のほか、必要に応じて開催する。
- (4) 和装業界懇談会  
夏から秋にかけて、関係団体と調整の上、開催する。

## 3 和装普及啓発事業（12,761千円）

- (1) きもの修学旅行（6,090千円）  
京都を訪れる中学高校の修学旅行生を対象に、きものを着ることの「楽しさ」「おしゃれ感」「京都らしさ」などを体感してもらう。  
(平成27年度実績：36校、2,766人参加)
- (2) きものレンタル事業（1,681千円）  
大学や専門学校をはじめ、観光関連団体等が文化イベントを開催する際に、きものレンタルを行う。  
(平成27年度実績：31件、561点貸出)
- (3) 「室町きもの教室」の開講（1,080千円）  
きもの初心者向けに、マナーやTPOまで合わせて学べる教室を開講する。  
(平成27年度実績：39人参加)
- (4) 「きもの似合うまち・京都」推進事業（3,510千円）  
「きもの似合うまち・京都」実行委員会の事務局として、「京都きものパスポート」の発行等を行う。  
(平成27年度実績：パスポート5万部発行)
- (5) 「伝統産業の日」事業との連携（400千円）  
京都市「伝統産業の日」実行委員会が主催する「きもの×京響 彩コンサート」に協力する。  
(平成27年度実績：1,003人参加)

## 4 和装教育支援事業（5,630千円）

- (1) 学校教育におけるきもの着つけ実習の支援（4,020千円）  
京都府内の中学校や高等学校に、きものレンタルや着付け講師の派遣を行うことにより、和装教育を支援する。  
(平成27年度実績：10校、14件、526人参加)  
\* 上記以外に講師派遣だけは、14校、1,551人参加
- (2) 大学生着付け塾の支援（1,000千円）  
京都大学等の学生を中心とする「京都着物企画」が実施する「きものやゆかたの着付け塾」を支援する。  
(平成27年度実績：181人参加)

- (3) 着つけDVD「ひとりで出来る着つけ塾」の作成等 (610千円)  
自分で気軽に着る楽しさを伝え、和装に対する興味を持ってもらうDVDを作成し、希望者に販売するほか、室町きもの教室の参加者に頒布等を行う。  
(平成27年度実績：3,167枚頒布)

## 5 企画広報事業 (1,380千円)

- (1) きものよろず相談事業 (340千円)  
専門家に気軽にきものに関する相談ができる無料の「きものよろず相談窓口」を開設する。  
なお、平成28年1月から、窓口の開設場所を京都産業会館から京染会館に変更したことにより、相談者が減少している。本年度は、事業の見直しを行う予定。  
(平成27年度実績：37人相談)
- (2) 和装情報の発信等 (180千円)  
財団ホームページを更新し、タイムリーな情報を提供する。
- (3) 後援及び賞状交付等 (10千円)  
和装産業の振興に資する事業について、後援等の依頼があった場合は、これに応じていく。  
(平成27年度実績：13件 (内、賞状4件))
- (4) 和装文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組 (850千円)  
ア 全国の関係者が一堂に集う会議の開催  
イ 実務者会議の開催  
ウ 国、京都府、京都市及び関係団体との調整